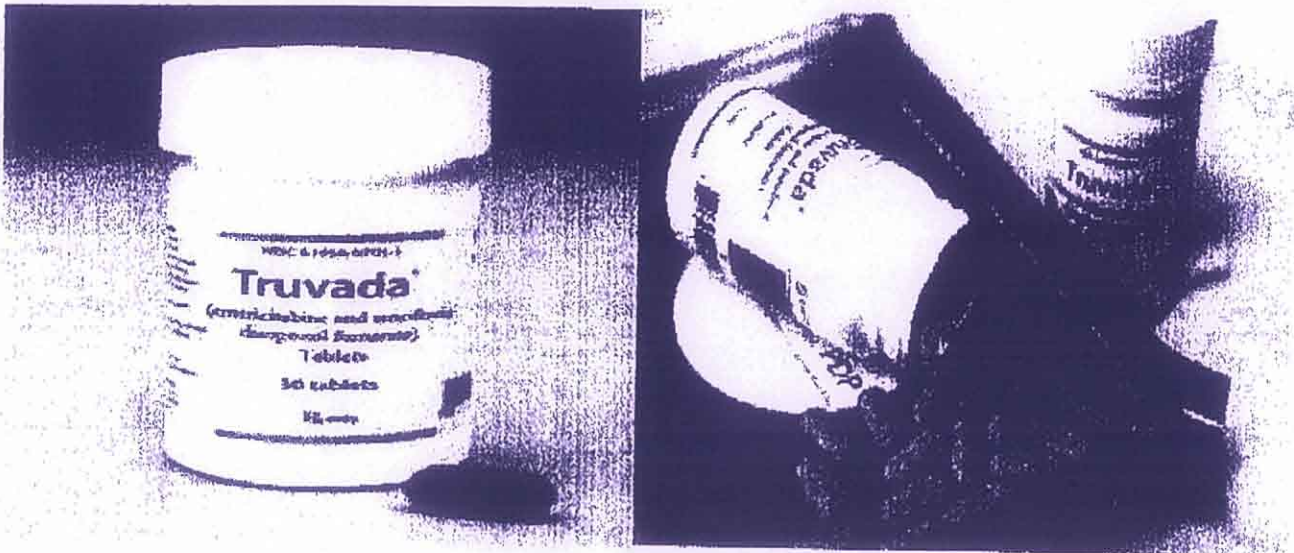


HIV予防薬 TRUVADA (ツルバダ)



私たちの活動のメインの取り組みがHIVの感染の予防です。

今までは不可能とされていたHIVの予防ですが、現代医療においても完治は不可能です。

しかし、DNA医科学の進歩により、カリフォルニアのギリアム・サイエンシズ社がAIDSの治療及びHIVの予防薬「ツルバダ」を開発し、アメリカの食品医薬品局（FDA）が、正式にAIDS治療薬「ツルバダ」をHIVの予防薬として承認しました。

詐欺行為と思われる文書

これにより、私たちはHIV予防薬「ツルバダ」をHIVが国際問題になっているカンボジアへ配布サポートするボランティア活動を2010年より始めました。

カンボジアでは1991年に初めてHIV感染者が発見されて以降、性産業の拡大や貧困などが原因でエイズの発症者数と死亡者数が急速に広がり、1997年には感染者が全人口の3%にまで上昇しました。現在も、カンボジアのHIV感染率は東南アジアで最も高いとされていますが、近年はカンボジア政府と各国NGO、国際機関の連携による積極的な取り組みの結果、私たち国立国際医療研究センター国際HIVサポートへの支援要請もいただき、HIV予防薬「ツルバダ」配布サポート後、状況は大きく改善の傾向にあります。

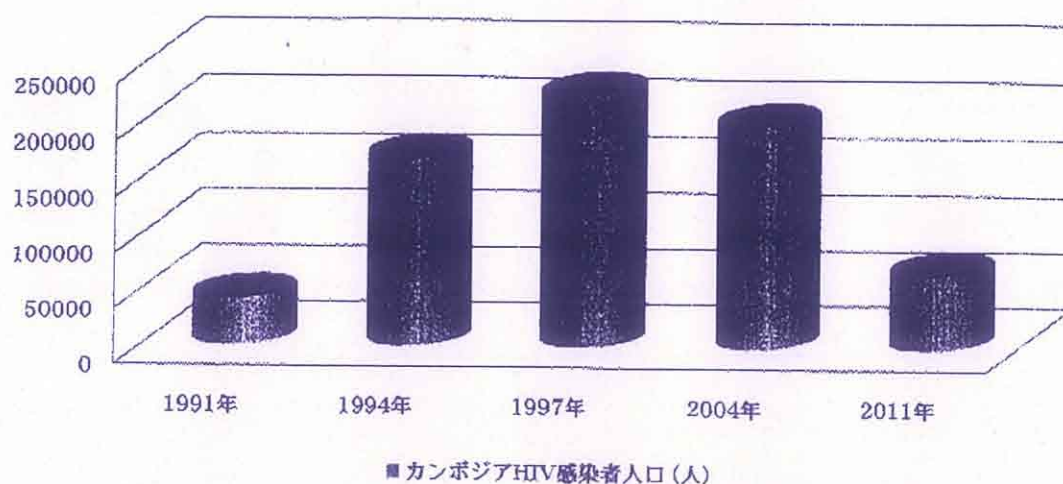
カンボジア保健省によると、現在のHIV感染率は全人口の0.9%、約67,200人まで減少しました。

HIV患者がカンボジアでは70%以上減少し、世界的にもHIV予防薬「ツルバダ」の評価が高まっております。

しかし、この広い地球上で、HIV感染を問題としている国はカンボジアだけではございません。

アフリカ大陸をはじめ、フィリピンやシンガポール、タイなどの日本に身近な東南アジアでも国際問題になっているほどです。

年代別カンボジアHIV感染者人口



本年度より、私たちはカンボジアでの減少実績を元に、日本政府及び日本医師連盟、日本赤十字社、国境なき医師団、その他各企業の方々の支援をうけ、カンボジアだけではなく、南アフリカや東南アジアに対するHIV感染予防薬「ツルバダ」の配布支援ボランティアを始めました。

しかし、AIDS予防薬「ツルバダ」の市場価格が非常に高価であり、今の国立国際医療センター・国際HIVサポートで組まれている予算及び機関・団体の協力やサポートをもってしても活動内容に保護・支援が追いついていないのが現状です。

死との恐怖と隣り合わせ、このような人々を無くしたいのに無くせない。不可能とされていた不治の病に限りなく近い解決方法があるのに届かない。何とかしたい思いがこれ以上できない・・・私どもの正直な思いです。





独立行政法人

国立国際医療研究センター

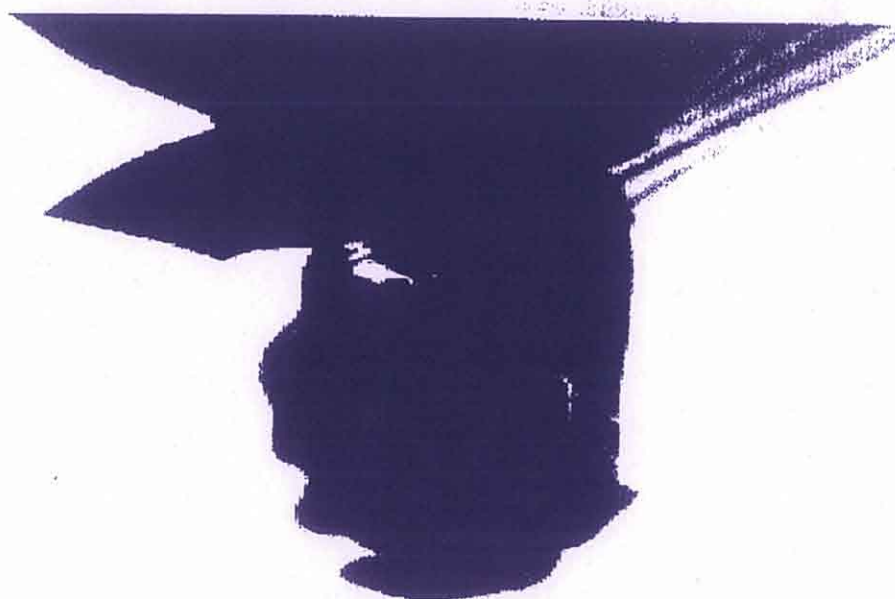
National Center for Global Health and Medicine

UNAIDSの2011年現在における報告書によれば、世界のHIV感染者数は3,300万人、そして43万人がHIV感染者として生まれてきており（そのうち39万人がアフリカで誕生）、毎日およそ1,200人が新たなHIV感染者として誕生しているという現状をご存知ですか？

この現状を踏まえ、世界中で様々な国家機関、政府機関、NGOや民間団体がHIV/AIDS感染者数を激減させる実践的活動を行っているわけですが、90分間のうち80人の感染者が誕生している今、（分かりやすく言ってサッカーゲーム1試合と同じくらいの時間です!）なかなかそのスピードに追い付けず、抜本的解決に至ってはいません。

私たち国立国際医療研究センター・国際 HIVサポートでは、このような機関・団体より協力を受け、ネパール、タンザニア、エチオピア、インド、カンボジアなどの国でHIV/AIDSに関わる活動や、HIV/AIDSに感染している子どもたちのケアを孤児院や特別施設で行っています。

何よりこれ以上のHIV感染者を出さないこと。それこそが、エイズという現代の不治の病に対応できる唯一といえる対応なのです。



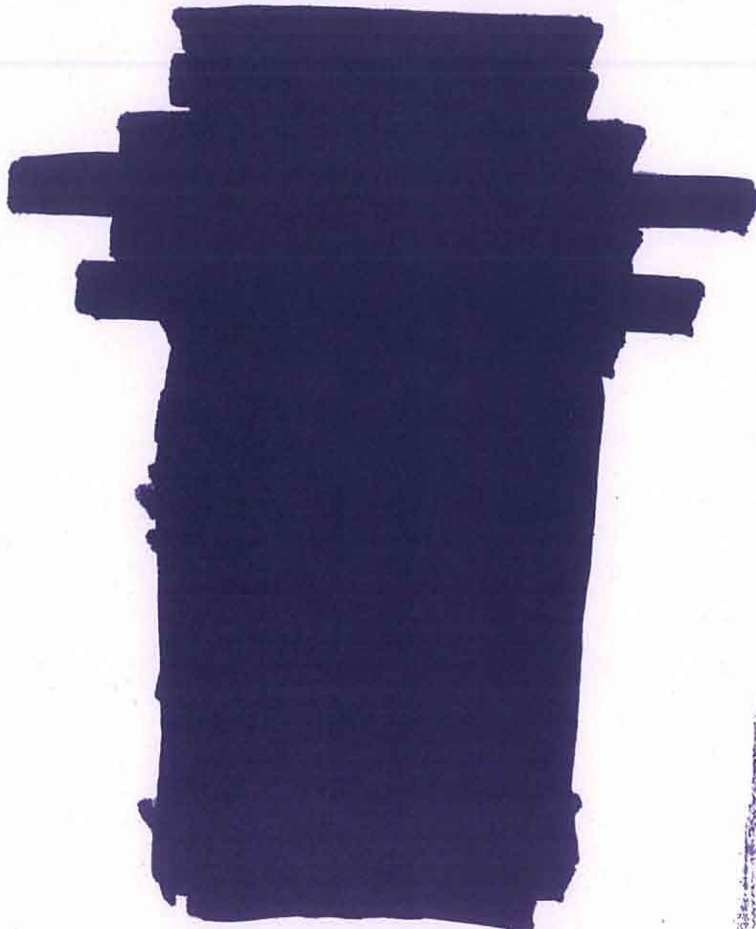


国立国際医療研究センター病院は、
最善の総合医療を提供し、
疾病の克服と健康の増進を通じて
社会に貢献します。

独立行政法人国立国際医療研究センター
国際HIVサポートチーム

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
TEL 0120-370-267
03-6671-9236(代表)
FAX 050-3383-1460

国立国際医療研究センター 国際HIVサポート
詐欺行為と思われる文書
協賛機関及び企業



信託受益権

そんな中、2012年度・独立行政法人対象信託受益権発行審査会に、国立国際医療研究センター・国際HIVサポートより、南アフリカ及び東南アジアにおけるHIV予防薬「ツルバダ」の配布・支援活動のための応募をしたところ、今年度最後の認可をいただきました。

信託受益権とは、日本政府認証の元、信託銀行の審査の上、信託銀行が発券、発行する流動化資産のことです。

活動内容を日本政府が審査し、営利目的ではなく、支援・発展・協力を目的とした非営利団体に発行許可がおりるものです。

日本政府の認証がおりましたら、提携していただける信託銀行を探し、最終的には提携していただける信託銀行が発券内容を保証するものになります。

銀行保証という安全、信用の大変優れた資産運用にもなりますし、その資産運用が世界各国のHIV感染症を減少する活動になります。

この度は日本政府の認証を受け、**詐欺行為と思われる文書**を乗り越えていただいたのですが、最終的に「住友信託銀行」様に信託受益権の発行及び発券をお願いいたしました。

私たちの活動に協賛していただける方に、心よりご賛同お願いいたします。

この度私たちの発券する信託受益権の発券内容は以下の通りです。

満期償還型信託銀行提携保障信託受益権

1口300,000円 募集総数10,000口

受益権配当金 年5.5%~8.5%

利率：満期固定型変動利回り（1年-3年-5年）



独立行政法人

国立国際医療研究センター

National Center for Global Health and Medicine

信託受益権 申込書

下記を御記入後、運転免許書・健康保険書・パスポート・住民基本台帳・住民票のいずれか一点を添えFAXにてお申込み下さい。

氏名	<div>印</div>
住所	〒
電話番号	
申込口数	<div>詐欺行為と思われる文書</div> 口
申込金額	円



独立行政法人

国立国際医療研究センター

NCGM National Center for Global Health and Medicine

TEL 03-6671-9236

FAX 050-3383-1460



独立行政法人
国立国際医療研究センター
National Center for Global Health and Medicine

コンプライアンス室長 兼
国際HIVサポート部長

詐欺行為と思われる文書

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
TEL 03-6671-9236
FAX 050-3383-1460